

施設の課題等について

1 課題の整理

施設の利用状況や維持管理状況等を踏まえた施設の課題については、次のとおり。

《プール》

- ・屋内プールにも関わらず、利用者数に偏りがあるため、**年間を通じて活用される施設**にする必要がある。
- ・学校のプール授業を受け入れている実績から天候に左右されず質の高いプール授業につながる可能性や、学校のプールの維持管理経費の削減等を踏まえ、**プール授業の更なる受入を検討する必要がある**。
- ・人口減少や高齢化社会が進行する中で、これまで通りウォータースライダーや流水プールなどの**レクリエーション機能の性質が強い施設とするか検討する必要がある**。

《障害者プール》

- ・障害者プールについては、利用状況や首都圏のプール施設の状況等を踏まえて、**あり方を検討する必要がある**。

《会議室等》

- ・会議室及び講習室の稼働率が低く、また、無料で利用できる**大広間や娯楽室**については、受益者負担の観点からサービスの提供（有料化の検討）について外部監査から指摘を受けており、**機能変更を含めて、あり方を検討する必要がある**。

《共通》

- ・多額の維持管理経費が発生しているため、**維持管理経費の削減とともに利用料収入の増加を図る必要がある**。

2 今後の検討事項

上記の課題や今後の社会情勢、維持管理コスト等を踏まえ、施設のコンセプトや機能・規模等について、検討する必要がある。

（1）施設のコンセプト（目指す姿・役割）例

市民に親しまれる施設となれるように

ア だれもが健康になれる施設

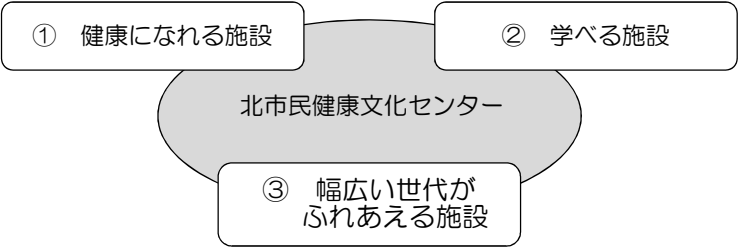
子どもから高齢者までが心身ともに健康を育むことができる場所

イ だれもが学べる施設

気軽に、多目的に利用ができ、スポーツや文化など様々なことを学ぶことができる場所

ウ 幅広い世代がふれあえる施設

様々な事業や気軽にふらっと集まれる交流スペースを通じ、幅広い年齢層がふれあえるオシャレな場所



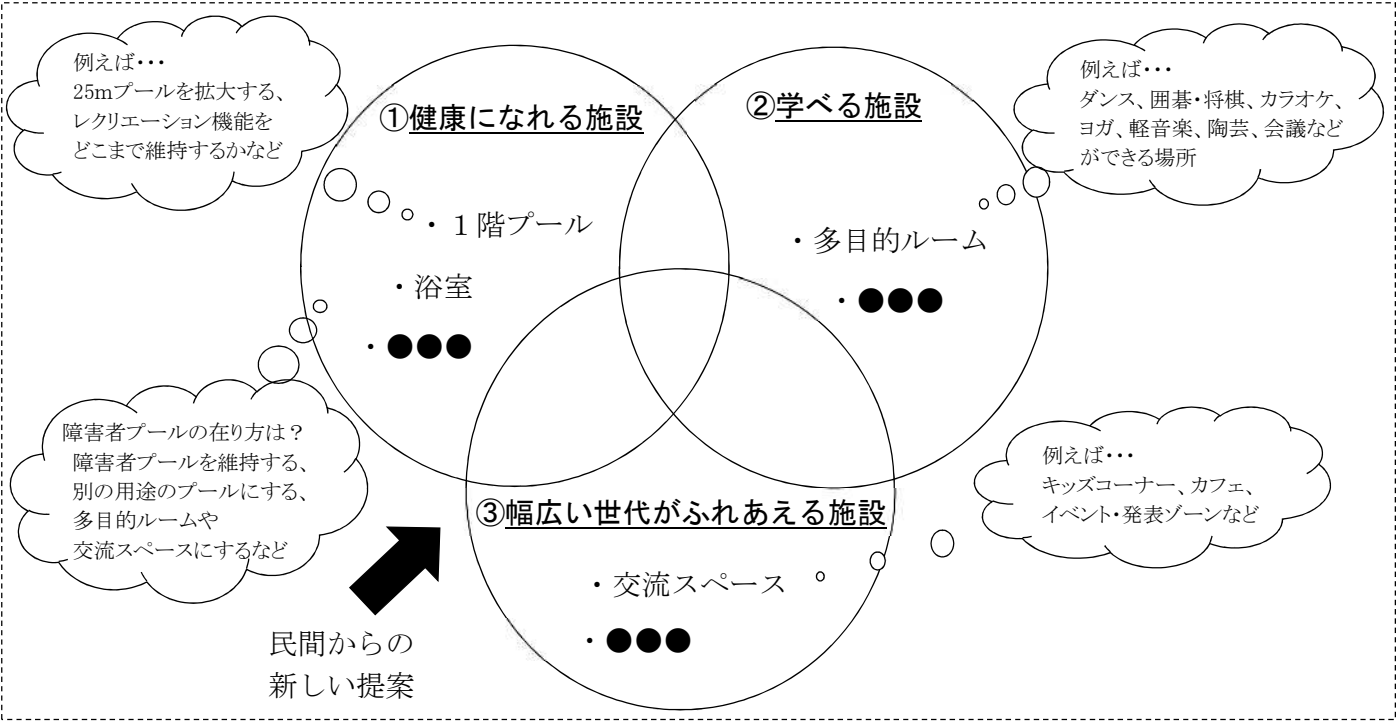
（2）施設の重点機能・規模（目指す姿を達成するために必要な機能）例

- ・1階プール
- ・浴室
- ・多目的ルーム（会議室機能も含む）
- ・交流スペース（フリースペースやホールの配置・運用の工夫等により交流を促進）
- ・民間からの新しい提案（※）

年間を通じて利用され、賑わいのある施設になれるように

※施設の改修等の手法としては、民間活力を活用した PPP/PFI 手法や市直営による改修等が考えられる。また、改修ではなく、必要な機能を維持した上で建物の規模を小さくして建替える方法も選択肢と考えられる。

【参考】施設のコンセプト及び重点機能等の検討イメージ



3 今後のスケジュール

日 程	内 容
9 月	第 1 回検討委員会（現地視察、利用状況、課題等）
1 0 ～ 1 1 月	第 2 回検討委員会（課題、コンセプト、導入機能案の検討等）
1 月	第 3 回検討委員会（考え方の取りまとめ）

※ 3 月以降に、民間事業者へのサウンディング調査を実施する予定